

平成 29 年 4 月 11 日

各 位

会 社 名 株式会社グリーンペプタイト
代表者名 代表取締役社長 永井 健一
(コード番号:4594 東証マザーズ)
問合せ先 取締役管理部長 酒井 輝彦
(TEL. 03-5840-7697)

がんペプチドワクチンの薬剤選定に用いる検査試薬に関する特許査定について

この度、当社のリード開発品であるがんペプチドワクチンITK-1をはじめとした抗体測定用の検査試薬に関する特許出願が、日本において、特許査定^{*1}を受けましたので、下記の通りお知らせいたします。

1. 特許の概要

発明の名称	抗体検査試薬
出願番号	特願 2016-179574
特許権者	株式会社グリーンペプタイト

ITK-1^{*2}は、複数のがん抗原由来のペプチド（12種）から構成され、その中から、投与前に患者の免疫応答状態の良いペプチドを4種選択して投与する“テーラーメイド型投与方法”を採用した薬剤です。

本特許は、その投与する4種の薬剤を選定するため、各患者の血中に存在する薬剤ペプチドに反応する抗体の量を調べる検査試薬に関するものとなっております。これにより、がん免疫治療薬として開発中のITK-1プロジェクトが、知的財産権面でさらに強固に保護されることとなります。

ITK-1は、富士フイルム株式会社に独占的にライセンスされており、現在国内において第Ⅲ相臨床試験が実施されています。

2. 業績予想に与える影響

平成30年3月期業績見通しは、本決算発表の際にご案内する予定ですが、本件による平成30年3月期への影響はございません。

以 上

【語句説明】

- ※1 特許査定：各国特許庁の審査によって「出願に記載された発明が特許権を得るに値する発明である」と判断された場合に示される審査結果です。特許査定後に特許料を納付することにより、該当する国において特許権が登録され、権利が発生します。
- ※2 ITK-1：細胞傷害性T細胞は、がん細胞が発現する抗原（がんの目印）ががん細胞表面上に提示されているのを認識してがん細胞を攻撃します。ITK-1は、この免疫の仕組みを利用して、がんの目印と同じペプチドを投与し、がんを攻撃する免疫を誘導します。ITK-1は、予め取りそろえた複数ペプチドのセットから患者ごとに最適なペプチドを選択して投与する「テラーメイド型がんペプチドワクチン」を創薬コンセプトとしているところに特徴があります。

【株式会社グリーンペプチドについて】

手術、放射線療法、化学療法に次ぐ、がんの「第4の治療法」としてがん治療の革新をもたらしつつある「がん免疫療法」の開発を行う創薬ベンチャーです。国内と米国で臨床試験を実施中のがんペプチドワクチンをもつほか、抗原特異的T細胞をiPS化し再生させる新たなT細胞療法の開発、また世界的に新規性の高いアプローチであるネオアンチゲン（遺伝子変異抗原）による新薬の開発に参入しています。